

2007年度JHF理事会議事録

日 時： 2007年4月12日(木) 11:00~17:00

場 所： JHF事務局会議室（豊島区巣鴨3-39-4 東都ビル2F）

1. 議長・議事録作成及び署名人指名

議長： 松田保子 議事録署名人： 菊池守男 北野正浩

2. 定足数確認

出席者：出席【理事】荒井健雄 大沢 豊 菊池守男 北野正浩 下村孝一
城 涼一 松田保子

【監事】對馬和也

（出席理事7名。今理事会は定足数を満たし成立した。）

3. 会長挨拶/各理事一言

下村会長： 但馬合意を見直すとすれば、合意以前に戻るわけですから、FLMをJHFで預かるという提案もありうると思います。この問題については、後程事務局案をたたき台に協議をいただきたいと思います。

大沢副会長： ハング日本選手権は無事成立し、男子・女子とも選手権者を選出することができました。総フライト距離も8千キロ以上という今迄にない内容でした。またJAAと関東総合通信局を訪問し、スカイレジャー航空無線について意見交換をしてきました。

菊池理事： 木島平ミーティングに出席しました。JHFブースを出展したが、あいにくの天気でピーアールが思うように行かず残念でした。

鳥人間コンテストについては、別紙報告書をご覧ください。活動したことについては記録を残し、次の人の参考になるようにすることが大事だと思います。

議長(松田理事)： イカロスのスタッフとして木島平ミーティングに参加しました。JHFやJPAに関係なくフライヤーと一緒に集える意義を多くの人感じていました。この種の企画を一出版社がやるのではなく、JHFが音頭を取ってやって欲しいという声も聞かれました。JHFとしてもこのような企画がやれたらいいなと思いました。

菊池理事： JPAから、JHFはまた余計なことをやっているとなりませんか。

議長(松田理事)： 統括団体としてのJHFが声をかけ、JPAや工業会等全ての代表で実行委員会を組織するやり方でないと無理と思います。

荒井常任理事： それはJPAを完全に認めた発言です。仲良くすることは賛成ですが、きちんと線を引かないと今後どのような団体が出来ても認めることになりませんか。

下村会長： 松田さんの意見については別の機会に皆で話し合ひましょう。

荒井常任理事： 普及活動にもっと力を入れるべきです。例えば大きな大会をやって、望遠カメラで撮影し、深夜の安い時間帯にテレビ放映する。企業を訪問しスポンサーになっていたくなどしなければならぬ。そういう活動をチームで実施するとよいと思います。

北野常任理事： ハング世界選手権のチームリーダーとしてテキサスに行くことになりました。そこは砂漠ですが、平地なので風向きに関係なくトーイングで飛べます。日本でどうしてもトーイングによる飛行が出来ないのか。トーイングであれば車椅子の方でも飛べるので、今後その可能性を探りたいと思います。

城理事： 顧問に推薦されている船田代議士の勉強会に参加しました。私たちのスポーツがメジャーなスポーツになるためには、いろんな方々のバックアップが受けられる体制を作ることが必要と思っています。

また今度の総会には、これまでの2年間の理事会活動を総括し、それをきちんと伝えられる準備をして望みたいと思っています。

對馬監事： ホームページに、詳しいことは無理としても、理事会活動の項目だけでも掲載すべきです。公益法人としての義務だし、JPAとの違いもそこにあります。

それと、パラ、ハング、モーターの各種目に適正な予算配分をする必要があるので、早くそれぞれの人数を出して欲しい。また西ヶ谷さんの件は、総会で監事として報告したいと思います。口頭では分からないので、教本やソフトの件についてまとめた物を業務報告として配ります。事前に皆さんにも見ていただきたいと思います。

荒井常任理事： 理事会が賛成してやったことですから、お互いも責任をとる気持ちが無いとまずい。西ヶ谷さんを庇う気はありませんが、大人の対応をして欲しいと思います。

城理事： 對馬さんや、先ほどの菊池さんの指摘と同感です。事実をきちんと報告することが正会員から求められていると思います。

それと添石さんにお聞きしたいのですが、「理事会の動向がホームページですぐ分かる様にして下さい」と再三言っていたはずですが。

添石事務局長： 分かりました。ホームページの情報公開の箇所に速やかに掲載するようにします。

4. 審議事項

第4-1号議案 アキュラシーJリーグ規程の一部改定について

パラグライダー競技委員会からの申請。

同規程は、2月19日理事会で改訂されたが、2007年カテゴリー2大会についてCIVL総会で協議された結果、再度の改訂が必要となっている。

改正のポイント： 軽いハーネスタッチは着陸の失敗として最大点のペナルティーを科さずに、1m(100点)のペナルティーとして扱うことにする。(詳細別紙)

既に2007年4月になっているが、アキュラシーJリーグの第一回大会が5月のため、リーグランキング等への影響は無い。

採決の結果、【賛成6 反対0 棄権0】で可決された。

賛成： 荒井、大沢、菊池、北野、下村、城

第4-2号議案 MPG教員検定の委嘱について

補助動力委員会からMPG教員検定の委嘱を求むとの申請。

一方に於いて教員・スクール事業委員会で、MPG教員の検定を、補助動力技能証を有する現検定員が実施できるとの取り決めがある(2007年2月27日)。

両委員会で調整のうえ再申請してもらうこととし、この旨事務局から通知することにした。

この対応について採決し、【賛成6 反対0 棄権0】で可決された。

賛成： 荒井、大沢、菊池、北野、下村、城

第4-3号議案 JHF 発第07-015号に関する質問書他（回答）

青森県連からの質問書に対する回答案

審議の結果、事務局回答案を下記のとおり修正することにした。

1-1) の修正

西ヶ谷氏の報告に基づいて判断しました。後日西ヶ谷氏より何月何日付けにこの様な報告をもらいましたと付け加える。

2-1) の修正

この場合～解釈によれば、の部分を削除。

その理由は民法651条により理事はいつでも辞任することができるからです。本人から辞任届けが提出された場合は、この民法の規定に基づいてとする。 それ以降は同文。

修正文を城理事がチェックしたうえで、青森県連に回答することになった。

修正案について採決し、【賛成6 反対0 棄権0】で可決された。

賛成： 荒井、大沢、菊池、北野、下村、城

第4-4号議案 予算の修正について

2007年度予算案、都道府県連盟事業費について、次のとおり見直す。

1. 都道府県連盟事業費の総額を増額する
2. 定額配分を20,000円から30,000円に増額する
3. 定額部分と総会交通費を除く額を、フライヤー会員在籍数で配分する

その上で文書理事会を開催し予算の修正を図ることとする。

第4-5号正会員主催イベントへのスタッフ派遣について

正会員主催イベントへのJHFスタッフ派遣については、その出張旅費を下記のとおり分担する。

<JHFスタッフ出張旅費ガイドライン>

1. 宿泊費は派遣先が全額負担
2. 日当はJHFが全額負担
3. 交通費は実費をJHFと派遣先で折半する。

採決の結果【賛成6 反対0 棄権0】で可決された。

賛成： 荒井、大沢、菊池、北野、下村、城

5. 協議事項

5-1 2007年度通常総会の案内

総会案内(案)について協議、議題として「顧問選任について」を追加することになった。

またこの過程で、緊急動議として下村会長から第4-4号議案予算の修正が提出された。

上記について採決し、【賛成6 反対0 棄権0】で可決された。

賛成： 荒井、大沢、菊池、北野、下村、城

5-2 イベントへのスタッフ等の派遣依頼について

スカイフェスティバル青森 2007 への講師派遣依頼。

協議の結果、教員・スクール事業委員会岩橋委員長を派遣することになった。

またハングについては大門氏の了解がとれば、あわせて派遣を承認することとした。

但し JHF スタッフ派遣に当たっては、公平のために出張旅費の分担を予め決めておく必要がある。このため審議 4-5 の緊急提案が提出された。

5-3 アウトフィールド社への回答

PG 教本業務委託契約終了の事由についてのアウトフィールドからの問い合わせ。

議事録次第掲載の回答（案）について、審議の場に同席した契約保証人西ヶ谷氏と下線部を付け加えることになった。

5-4 但馬合意見直し改訂案について（回答）

JAA 航空スポーツ室長の但馬合意見直し案に対する回答について協議した。

この結果、別紙の見直し案についての回答（案）の第 2 項を修正するとともに、新たに第 3 項を追加することとした。

第 2 項の修正

当連盟所属会員が行う FAI 以外の活動は、貴団体及び但馬合意の当事者である JLM, 更には調整後の PPG/PHG 統括団体との枠組みの下に、但馬合意に沿って設定いただきたいと存じます。

第 3 項を追加

FLM を JHF で一時（再度 JML との調整が出来るまで）お預かりすることも吝かではありません。その理由は、①但馬合意がなくなるので、但馬合意以前の状態に戻したらどうですかということ。②但馬合意を破棄したのは JML と FLM 両者とも齟齬があるがそれを一方的に JAA が FLM を救済するのはおかしい。③この新しい団体は JHF に対して非友好的設立であること。非友好的である理由は 2 つ。1 つは今日現在まで一言半句も挨拶がないということ。2 つめはそれにも関わらず、JHF は新団体に非協力的と述べていること。

第 3 項の追加は是非とも必要なので、下村会長が文案を練って、二三日中に全員に図ることになった。

5-5 第三回木崎湖セーフティーセミナーへの協力について

木崎湖ロングセーフティーセミナー（マヌーバートレーニング）への協力依頼。

期 間：2007 年 7 月 8 日から 3 ヶ月間

場 所：長野県木崎湖

主 催：アクセススカイパラグライダースクール

協力の内容：助成金の支給

協議の結果、一企業が実施する普及振興事業ではあるが、広報などの面では協力してもよいのではないかとの意見があった。

但しこの種のセミナーに対し、JHF として今後どのようなスタンスをとるかについて安全性委員会及び教員・スクール事業委員会に諮問することになった。

5-6 スクール・クラブ通信 11 号のコンテンツ

掲載記事をメールか電話で事務局へ依頼することとし、松田理事と添石事務局長がまとめることになった。

5-7 ハング・パラグライディング PR について

荒井常任理事の提案。

ハング・パラグライディングのイベントをテレビで放映してもらい視聴者にアピールする。そのための運動として、取りあえず市販のデモビデオを持ってテレビ局を訪問する。

実現の折には、JHF が著作権を有する映像を提供するというもの。

スポンサー探しは荒井常任理事を中心に展開する。

取りあえず、荒井常任理事、下村会長、松田理事がテレビ局を訪問することになった。

5-8 PG 教本編集作業引継ぎについて

西ヶ谷氏に参加してもらい PG 教本編集作業の引継ぎについて協議した。

当初西ヶ谷氏は、業務委託契約終了について具体的理由を求める場面もあったが、両者で円満に解決することで合意した。

この結果、西ヶ谷氏も PG 教本改訂特別委員会に一委員として加わり、その専門性を活かすことになった。

6. 報告事項

6-1 3月フライヤー会員・技能証登録発行実績

2006 年度末の有効フライヤー会員数が最終的に対前年度 95.8%となった。技能証発行実績はハングが 88.8%、パラが 89.3%でほぼ同じで、MPG は教員検定が行われていない状況を反映し 65.8%となった。

有効期限が切れて2ヶ月経っても更新しない会員をフォローするプログラムが出来たので、これを活用することになった。来年度有効会員数増加の達成を確認した。

6-2 予算収支：進捗管理表

下村会長から報告した。

前月の収支実績報告が間に合わず、収支進捗管理表は作成されていないが、ほぼ目標どおりであることを確認した。

6-3 のじぎく国体最終レポート

兵庫県フライヤー連盟からの「のじぎく国体」最終レポート。

同封の DVD 及び CD をコピーし、6 月総会で全正会員へ配布することとした。

6-4 安全性委員会議事録

2006 年 6 月 27 日安全性委員会の議事録。未報告のため、菊池理事から改めて報告した。

6-5 補助動力委員会議事録

補助動力委員会からの報告。山崎委員長の指示で一部削除された。

下村会長：情報が制約されると視野が狭くなる。情報を皆で共有するよう努力しましょう。

菊池理事：それぞれの担当について、簡単なメモでいいので報告しましょう。

そうでないと記録に残らず、理事は何をしているのかと言われる。

6-6 第 31 回鳥人間コンテスト書類選考会の参加報告書

菊池理事の報告。

鳥人間コンテストの報告は、記録に見る限り今回が初めて。次回参加する人のためにも

今後記録を残すことを確認した。

6-7 関東総合通信局とのミーティング議事録

JAA 傘下の団体が、4月5日関東電気通信局を訪問し、スカイレジャー航空無線機について意見交換をした。別紙メモは JAA 北宮部長の報告。

ミーティングに出席した大沢副会長、添石事務局長から補足説明をした。

通信局の関心は、使用許可を JAA に一本化することにより、スカイレジャー航空無線機の円滑な運用が図れないかというものであったが、無理であると認識したようである。

熱気球世界選手権での無線機の使用については、JAA で一部誤解がみられたが特に問題とはならなかった。ポイントは無線機を使用する者が JHF の会員であることおよび JHF 無線従事者が参加していれば問題は無かった。

6-8 フライヤー会費口座振替の進捗

3月からスタート。5月更新の会員に口座振替案内を同封したところ、現時点で45名の申込があった。口座振替の受付ができる契約スクールを拡大する必要があり、積極的に働きかけることになった。

6-9 事務局システム不具合対応状況

不具合対応を完了し、マニュアルを納品した時点で、西ヶ谷氏に残金を支払うことを確認した。

この議事録が事実と相違ないことを確認し署名捺印する。

議長

(松田保子)

署名人

(菊池守男)

署名人

(北野正浩)

議事録作成人：桜井加代子